

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	楽らく療養通所 ブルーンベリーハウス		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 19日		2026年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 19日		2026/1/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>個別性に合わせた、適切な支援の提供ができています</p> <p>【保護者評価】保護者の大半が「子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている」と回答</p> <p>【事業者評価】アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成できています</p> <p>上記より、計画の透明性をさらに高め、支援内容と成果をより可視化していくことで、保護者との信頼関係をさらに深めることが期待されます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●アセスメントシートの更新、ガイドラインを参考に、本人支援は5領域・5項目で立案、家族・移行・地域支援もそれぞれ計画を立案。個別性を踏まえた内容としている。 ●多職種が参加する支援会議にて、計画立案の検討を行っている。新規参入職員やアドバイザーの意見も取り入れ、変化のある活動プログラムを立案できるようにしている。 ●支援目標達成について詳細にモニタリングを行い、計画の修正に反映できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個別支援計画内容にそった支援が行えているか、スタッフ個々の理解に差がないかの確認を行うとともに、閲覧ファイルを設置し支援の方向性にずれが生じないように注意していく。 ●個別支援計画の実施状況が分かる一覧表を活用し、進捗状況を可視化していく ●定期面談の機会を増やし、ニーズの変化をより早期に把握する
2	<p>利用者満足度が高い</p> <p>【保護者評価】「職員から共感的に支援をされていると思う」は全員が肯定。「帰宅したときは楽しかったという顔で帰ってくる。男性スタッフが入り、思春期独特の緊張もほぐれ楽しんで通っている」との意見があった</p> <p>【事業者評価】人員要員の配置は適正であり、利用中の状況は概ね日々の記録に記載反映し、支援の検証・改善につなげている</p> <p>上記より、個別性に合わせた人員の配置を行い、利用者保護者のケアニーズを汲み取った支援内容を立案、支援を行うことが利用者満足度に繋がっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の精神運動・発達上の変化に合わせ柔軟に計画内容の見直しを行い、支援の機を逃さない工夫をしている ●看護師の加配加算による専門性強化、医療的ケア児の必要看護師を別途配置し、ケアの質の担保を図っている。 ●児童指導員は加配配置を行い質の高い支援を行っている。 ●朝礼での支援内容・役割確認、リーダー中心の柔軟な運営 ●保護者向け評価表の配布と意見の集約を行い、利用者のニーズの把握に努めている 	<ul style="list-style-type: none"> ●利用する子どもたちが楽しめるような関わり、環境づくりに努め、馴染みの薄いスタッフとも幅広く関わられるよう、人員配置を工夫していく ●支援後の振り返りを習慣化し、チーム内での気づきを共有 ●4つの基本活動のうち、地域交流と余暇活動が実施しにくい為、次年度はこの二点を意識した計画を立案できるよう心掛けてゆく。
3	<p>非常時等の対応が整備されている</p> <p>【保護者評価】：保護者の多くが、「安全を確保するための計画が周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われている」と回答</p> <p>【事業者評価】：職員全員が各マニュアルの作成と職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施できていると回答</p> <p>上記より、非常時に備えた体制整備が確立され、それら訓練の実施と見直しが適切に行われ、安全に配慮した運営ができている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各マニュアルを作成し、年次ごとに見直し刷新している。職員には研修にてマニュアルを抄読する機会を持ち、頻回に訓練を実施している。 ●保護者には年4回の広報誌発行による情報提供、感染症・安全対策などの丁寧な説明や取り組みについて広報誌にて説明し、情報共有を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難訓練の継続や、地域住民の参加も含めた防災活動やイベントを計画していく ●新入職者にも分かりやすい内容で事業所取り組みについて説明機会を重ねる。業務継続計画・安全対策・身体拘束・虐待防止・感染予防などの必要性については、職員個々に理解の差がないか確認し、教育を継続していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>保護者同士の交流機会・家族支援の不足</p> <p>【保護者評価】 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられる点で低評価</p> <p>【事業者評価】 保護者同士の交流の実態を「分からない」と答えたスタッフもあり、事業所として保護者間の交流機会が十分ではない状況</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保護者間の交流機会の再開に遅れ ●保護者同士の関係性が希薄になり、意見交換の場が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療依存度が高い利用者層であることから新型コロナウイルスなど感染症予防に重点を置き、交流の機会を縮小したまま、再開の機会が得られていない ●保護者間のつながりに関するニーズを把握する機会が不足していた ●個別活動が中心であるため、全体的な交流の場づくりが後回しになっていた 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者会設立の前に、保護者参加型の行事の開催や情報交換や交流の場となるような企画を検討していく。感染対策を講じたうえで、小規模・短時間の研修会や交流イベントを段階的に再開 ●交流イベントをSNSや広報誌で告知し、参加しやすい雰囲気をつくる
2	<p>地域・外部機関との連携の不足</p> <p>【保護者・事業者評価】 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会について低評価</p> <p>(自立支援) 協議会等へ積極的に参加についても同様</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域社会とのつながりが弱い、開かれた事業所運営について理解が不足している ●外部評価や支援機関との定期的な情報交換・連携体制の強化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ●放課後児童クラブや児童館、地域の子どもの交流機会を得る術やネットワークが構築しきれていない ●(自立支援) 協議会等外部会議等の現状把握が十分でない 	<ul style="list-style-type: none"> ●協議会や地域イベントへの参加方法、日程を明確化し、積極的に参加する機会を設ける ●参加が難しい場合も、オンラインや文書・電話で情報提供・共有を行う工夫 ●地域の学校保護者役員との交流を持ち、コミュニティ内での関係性を構築する(子ども110当番の掲示・確認) ●年度内に少なくとも1回、地域連携の場に参加・協力する行動目標をチームで設定
3	<p>第三者評価や、評価結果に基づいた業務改善の機会が不足</p> <p>【事業者評価】</p> <p>PDCAの運用や意見集約の仕組みについて、半数近くのスタッフから「意味や手法が分からない」との声が挙がっている。また外部評価についても、行政の内覧等を評価と捉える職員が多いものの、実際には民間機関による正式な第三者評価は未実施であり、客観的な評価機会が不足している。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●民間機関による第三者評価が未実施であり、客観的な視点を取り入れた業務改善ができていない ●PDCAサイクルの目的が浸透しておらず、改善活動に参画するスタッフに偏りが生じている 	<ul style="list-style-type: none"> ●職員の入れ替わりが多く、PDCAサイクルについても「意味やどの場面で活用されているか理解できない、参画するスタッフに偏りが出る」など否定的な意見が一定数ある ●就業年数にも偏りがあり、全職員に対して適正な業務分担と整理ができていない ●担当者任せで情報共有が不足し、業務内容の適正化が図れていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●民間機関による第三者評価の機会を持てるよう検討する。 ●全職員に対して適正な業務分担と、目標の設定・評価・改善が図れるよう業務整理を継続していく。 ●意見の出しやすい雰囲気づくりと意見を反映させた業務の改善に取り組めるよう体制作りに努める。 ●業務内容の分担表、月間スケジュールの可視化